



株式会社 松屋フーズ

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-1-7
TEL : 03 (3904) 1121 (代)
http://www.matsuyafoods.co.jp

郵便はがき

1 7 7 8 7 9 0

料金受取人払



差出有効期間
平成17年12月
31日まで有効

切手不要

(受取人)

東京都練馬区下石神井4-1-7

株式会社松屋フーズ 総務部 行



個人情報保護のため氏名はご記入いただかなくて結構です。

住所 (都道府県名)

(都・道・府・県)

性別 男・女

年齢 20代未満、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上

職業 会社員、会社経営者・自営業、官公庁・団体職員、
専門職、主婦、無職、その他

株式投資歴 3年未満、3年以上10年未満、10年以上20年未満、
20年以上

該当する項目に○をお付けください。

株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
上記基準日 毎年3月31日
その他必要のあるときは、あらかじめ公
告して臨時に基準日を定めます。

配当金受領株主確定日
利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
公告掲載新聞 日本経済新聞
名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)
(電話照会先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他の照会) ☎ 0120-176-417

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社
本店及び全国各支店

1単元の株式の数 100株

【お知らせ】
〈配当金の、銀行、郵便局の指定口座へのお振り込みのご案内〉
配当金をご指定の銀行または郵便局の口座に自動振込することができます。詳しくは、上記、名義書換代理人、住友信託銀行のフリーダイヤル(その他の照会)でご照会ください。

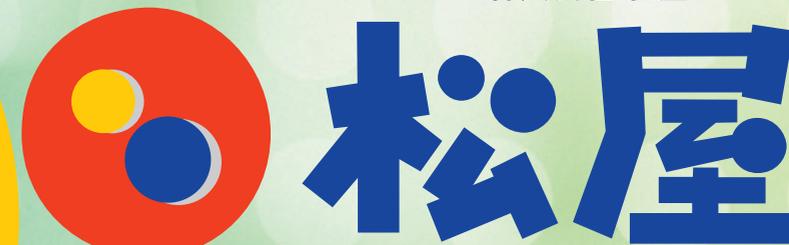
当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ
http://www.matsuyafoods.co.jp/ir/index.html
に掲載いたしております。



古紙配合率100%再生紙を使用



株式会社 松屋フーズ



第30期 事業報告書

2004年4月1日から2005年3月31日まで

[表紙写真]

(中央・下より時計回りに)
川越インター店・本格派「牛めし」
・「富士山工場」・「5MIXサラダ」

Highlights

[単体決算ベース]

売上高 **56,585**
百万円

新規出店効果(78店)及び中国産牛肉を使用した「牛めし」の販売効果(2004年10月13日～)等から、前期比104.5%の増収を達成しました。

経常利益 **2,557**
百万円

上期の「米国産牛肉BSEの影響による売上高の低迷」「代替食材の高騰」「天候不順による農作物価格の上昇」を下期は克服(原価率:上期比△0.8ポイント、販管費率:上期比△5.3ポイント)。通期経常利益の84.5%にあたる2,161百万円を下期にて獲得しました。

当期純利益 **1,089**
百万円

上記の結果、2005年3月期(第30期)の当期純利益は1,089百万円となりました。

TO OUR SHAREHOLDERS

1店1店が地域増収増益を目指



代表取締役社長
か かわら ぶ き と し お
瓦 葺 利 夫

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社2005年3月期(30期)の概況をご報告申し上げます。

No.1店舗となることにより、していきます。

Q 当期の業績はいかがでしたか。

A 2005年3月期(30期)という節目の期を一言で表現すると「BSEに始まりBSEに終わった」期であります。一昨年末に米国産牛肉のBSE発生に伴う輸入停止という、当業界にとっては経営根幹を揺るがす激震が走りましたが、「業界の覇者になる千載一遇のチャンス」と捉え、グループ丸となって業務に邁進してまいりました。

上期においては、「豚めし」を牛めしに続く「松屋の二代目」と位置づけ、「野菜無料キャンペーン」や「価格の引き下げ」を通じて、お客様にご支持いただくための活路を求めて模索いたしました。完全に「牛めし」を補うまでにはいたらず、既存



店は前期比約10%の落ち込みとなりました。

一方、原価も「10年振りの米の不作」や「(豪州産)牛肉の高騰」「高止まりした豚肉価格」の上に「鳥インフルエンザの発生」という悪条件が重なり、原価率は29期上期と比べ2.7ポイントの上昇となりました。結果、中間決算では、経常利益395百万円と、何とか黒字を確保することにまいりました。

下期においては2004年10月13日より、中国産牛肉を使用した本格派「牛めし」を投入したことの効果が大きくあられ、既存店前期比は95%台にまで回復いたしました。

原価につきましては、米の価格も平年並みに落ち着き、良質な食材の開発輸入も推進したことにより、上期原価率に比べ0.8ポイントの改善となりました。販管費率につきましても、既存店売上の回復とともに、人件費等のコスト削減努力により、上期販管費率に比べ5.3ポイントの改善となりました。

結果、通期の業績では、売上高につきましては565億85百万円と前期比4.5%の増収を確保できましたが、経常利益は25億57百万円と前期比53.9%の減収という、不本意な業績をご報告することになってしまいました。

しかしながら、外食業界にとって未曾有の厳しい経営環境下であるにもかかわらず、下期の業績は回復基調にありますので、2006年3月期(31期)は、良い業績結果を株主の皆様方にご報告できると確信しております。



To Our Shareholders

Q こうした環境の中、出店に対する方針についてお聞かせ下さい。

A 2005年3月期(30期)は78店舗を新規に出店いたしました。このうちロードサイド店舗は52店舗と、新規出店の66.7%を占めました。新地域(松屋の未出店地域)への出店は1道8県に19店出店し、結果、3月末日現在での出店地域は33都道府県に拡大したことになります。

また、念願の海外初出店となる店舗を2004年11月15日に中国山東省・青島市に「青島ジャスコ店」としてオープンいたしました。

2006年3月期(31期)におきましても、前期と同等水準の70店舗の出店を予定しております。

海外初出店「青島ジャスコ店」



富士山のミネラル水を利用した「富士山工場」



具体的には、首都圏、人口100万人以上の政令都市、人口30万人以上の地方都市を中心に店舗をまいります。70店舗の出店予定の中には、2005年5月27日にオープンさせたイタリアン業態「REPINO(レピーノ)」、490円とんかつを主軸としたとんかつ業態等、新業態も10店舗程度含んでおります。

また、同一商圏において、より好立地へのリプレース出店や、弁当販売強化、グループ客の来店強化等を目的とした戦略的な改装も推進してまいる所存です。

Q 「中央物流センター」及び「富士山工場」が新たに稼働しましたが、その特徴について教えてください。

A 将来における1,000店舗体制の確立に向けて、2004年11月に「中央物流センター」、2005年1月には「富士山工場」が新たに稼働いたしました。

「中央物流センター」では、保税庫が隣接していることにより、輸入食材の保管・管理が従来に比べてスムーズにできるほか、冷凍、冷蔵、常温の三温度帯の保管庫を有し、商品特性にあったきめ細かい保管・管理が可能となる等、ロジスティクスシステムの最適化を図り、配送業務の効率化と物流コストの削減に寄与いたします。

「富士山工場」の最大の特徴は、富士山麓の豊富な伏流水を利用したカット野菜等の生産にあります。

また、嵐山工場とともにトレーサビリティシステムの導入により、食の「安全」への取り組みをより一層推進してまいります。

Q 外販事業の状況と今後の展望についてお聞かせ下さい。

A 2005年3月期(30期)より本格展開を開始いたしました「冷凍個食パック」の販売は、首都圏をはじめとする生協のほか、インターネットショッピングモール「楽天市場」等を通じて、通期で3億円の売上となりました。

2005年3月には、アジア・環太平洋地域最大の食品トレードショー「FOODEX 2005」に出展し、会場に訪れたバイヤーの方々に好評をいただきました。その成果もあり、販路・取扱商品の拡大に向けて準備を進めているところであります。

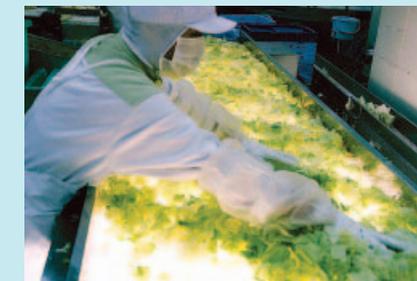


↑ 冷凍個食パックシリーズ

Q 2006年3月期(31期)の業績見通しはいかがでしょう?

A 2004年10月13日より中国産牛肉を使用した本格派「牛めし」を販売してから、8ヶ月が経過いたしました。当社主力商品である「牛めし」のブラッシュアップは業績向上において大きな要素ではありますが、この間の努力の甲斐あって、主要食材である中国産牛肉の調達も極めて安定的に推移しており、新たな調理・オペレーション方法の開発にも目処が立っております。

一方で、米国産牛肉の輸入再開も間近に迫っているとの報道がされておりますが、当社の食材調達に対するスタンスは、グローバルな視点から「味」「量」「価格」の最適バランスを追求していくこととありますので、米国産牛肉の輸入再開向け



← 富士山工場での野菜加工
↓ 和光白子店



での準備を進めつつも、中国産牛肉は今後も主力食材であることに変わりはありません。

また、前述いたしました新業態の出店につきましても、今期は多店舗展開を推進していく上における節目となる重要な期であります。

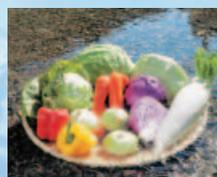
外食業界を取り巻く環境は、前期に引き続き厳しい状況下ではありますが、今期を「飛躍の期」とするために、1店1店が出店地域における競合店競争に勝ち、「地域No.1」となるために業務に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、従前に増してのご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

新工場「富士山工場」稼働開始

2005年1月27日より、富士山工場が本稼働いたしました。地下250mからくみ上げた富士山の天然ミネラルウォーターをふんだんに利用して、これまで嵐山工場で作っていたカット野菜、漬物、キムチ、大根おろし、タマネギスライス等の野菜関係商品を作ります。

富士山工場の稼働により、1,000店舗に対応できる生産体制を備えることができました。



【富士山工場概要】

名称 株式会社松屋フーズ 富士山工場
所在地 静岡県富士宮市大字北山字峯4242-4
敷地面積 約40,000㎡ (約12,000坪)
竣工式 平成17年1月21日 (金)
※本稼働 平成17年1月27日 (木)

	嵐山工場	嵐山比	富士山工場	
建物	敷地面積	4,000坪	3倍	12,000坪
	建坪	4,000坪：4F建	1.1倍	4,462坪：2F建
生産能力	野菜	16t／日	2倍	32t／日
	タマネギ	7t／日	1.5倍	11t／日
	入荷冷蔵庫能力	110パレット	1.6倍	172パレット
	出荷冷蔵庫能力	105坪	2.5倍	262.9坪

横浜大黒ふ頭に「中央物流センター」を新設

2004年11月に、横浜港の大黒ふ頭に新しく中央物流センターが開設されました。

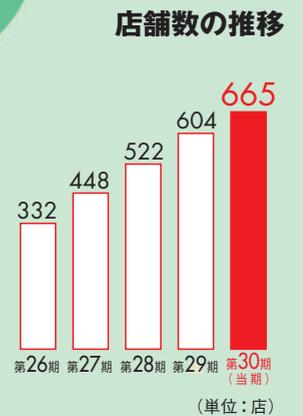
延べ床面積1,100坪以上、物流棟の冷凍冷蔵倉庫だけで150t以上の収容能力を有します。中央物流センターの稼働に伴い、首都圏の小規模デポを統廃合し、集中荷受、保管、仕分等、物流体制の効率化を図っております。



中国の青島(チンタオ)に初出店。 1道8県にも第1号店を出店。 今後も店舗網を拡大します。

2005年3月期は「青島餃子」を含む78店(退店17店舗)を出店。うち新地域出店として1道8県(北海道、岩手県、山形県、栃木県、長野県、富山県、石川県、広島県、山口県)に進出いたしました。よって、2005年3月末日現在の店舗数は665店舗(うちFC11店舗)となりました。また、既存店53店舗の改装(全面改装2店舗、一部改装51店舗)も実施いたしました。

全国 665 店
うちビルイン店舗463店舗
ロードサイド店舗202店舗
※海外「青島ジャスコ店」を除く



松屋のメニュー展開

2004年10月

松屋の「牛めし」が復活!!

2004年10月13日に「秋の味覚祭第3弾」として、中国産牛肉を使用した本格派「牛めし」を販売開始!

牛肉は、中国で穀物飼育されたブランド牛「山東黄牛」を使用。新しい調理法により、ふわふわで柔らかな牛肉の食感を楽しんでいただける牛めしをご提供できるようになりました。



2005年3月16日登場

松屋は2005年2月
5 A DAY
に加盟しました。

「5MIXサラダ・5MIXサラダセット」



気をつけていても、なかなかできないのがバランスのよい食事。2005年3月16日より、レタス、大根、パプリカなど彩り鮮やかな5MIXサラダと5MIXサラダセットをキャンペーン販売いたしました。もちろん、新鮮なサラダは、富士山麓のミネラルウォーターをふんだんに使用した、富士山工場にて作られたものです。なお「5 A DAY (ファイブ・ア・デイ)」とは、がん予防を目指して、1991年アメリカの農産物健康増進基金と国立がん研究所が協力して始めた国民健康増進運動です。当社では、その活動内容に賛同し、2005年2月に加盟いたしました。

TOPICS

NEW 10月から5月までに登場した 松屋の新メニュー

2004年10月13日登場

本格派「牛めし」

2004年11月16日登場

「牛めし豚汁セット」

2004年12月8日登場

「キムチチゲ定食」

2004年12月8日登場

「ポークグリル定食」

2004年12月22日登場

お得な「豚汁セット」

2004年12月22日登場

「角煮カレー」

2005年1月19日登場

「牛めし・豚めしチゲセット」

2005年2月14日登場

「味噌煮込みハンバーグ定食」

2005年4月21日登場

「角切りステーキ定食」

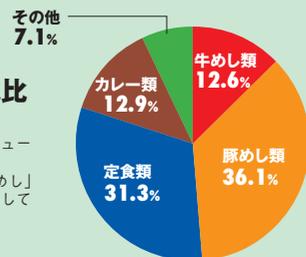
2005年5月26日登場

「スープカレー」



商品別出食数構成比

- 牛めし定食店のメインメニューの出食数より算出。
- 中国産牛肉を使用した「牛めし」は2004年10月13日から販売しております。



TOPICS

松屋のホームページ展開

ホームページが全面リニューアルいたします!

当社のもう一つの顔である「ホームページ」には、1日約5,000件のアクセスがあります。

この度、閲覧される方々(お客様)の「知りたい」を、「よりわかりやすく、より容易に」をキーワードに、ただいま全面リニューアル中です。

8月下旬頃、皆様へお披露目できる予定でございますので、ご期待下さい!

<http://www.matsuyafoods.co.jp/>

※右写真はリニューアル後のトップページのイメージ画像(変更の可能性あり)。



「牛めしの具」「MIXセット」など、好評発売中! 電話予約も開設!

日本最大のインターネットショッピングモール「楽天市場」にて、温めるだけで、ご家庭でもお店と同じ味を簡単にお楽しみいただける、冷凍個食パック「牛めしの具」「豚めしの具」「スパイシーチキンカレー」「MIXセット」を好評発売中!

またこの度、電話でも簡単にご予約いただけるフリーダイヤルを下記の通り開設いたしましたので、ぜひともご利用下さいませ。

フリーダイヤル 0120-127-230

(午前10時から午後6時まで受付)

※携帯電話ご利用のお客様は 03-5908-3387 をご利用下さい。

<http://www.rakuten.co.jp/matsuya/>



連結財務諸表

●連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2005年3月31日現在	2004年3月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	11,098	9,598
現金及び預金	8,040	7,526
売 掛 金	66	18
たな卸資産	1,758	1,000
繰延税金資産	493	453
そ の 他	739	598
固 定 資 産	39,392	35,430
有形固定資産	23,788	20,871
建物及び構築物	11,764	9,446
機械装置及び運搬具	1,507	1,058
工具器具備品	2,175	2,139
土 地	7,971	6,903
建設仮勘定	368	1,324
無形固定資産	249	202
ソフトウェア	231	163
そ の 他	17	38
投資その他の資産	15,354	14,356
投資有価証券	620	231
保証金・敷金	12,745	12,243
長期前払費用	799	912
契約仮勘定	126	371
繰延税金資産	381	345
投資土地	327	—
投資建物等	139	—
そ の 他	264	270
貸倒引当金	△ 51	△ 18
資 産 合 計	50,491	45,029

●連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2005年3月31日現在	2004年3月31日現在
負 債 の 部		
流 動 負 債	8,968	8,418
買 掛 金	1,066	1,524
一年以内返済予定長期借入金	2,958	2,043
未 払 金	2,657	2,142
未払法人税等	1,189	1,486
賞与引当金	715	685
子会社整理損失引当金	113	—
そ の 他	267	536
固 定 負 債	12,526	8,239
長期借入金	11,798	7,547
役員退職慰労引当金	615	556
そ の 他	112	135
負 債 合 計	21,494	16,658
資 本 の 部		
資 本 金	6,655	6,655
資 本 剰 余 金	6,963	6,963
利益剰余金	15,387	14,759
その他有価証券評価差額金	△ 2	△ 2
自 己 株 式	△ 7	△ 5
資 本 合 計	28,996	28,370
負 債 ・ 資 本 合 計	50,491	45,029

(注記) 記載金額は、百万円未満を切り捨てています。

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2004年4月1日から2005年3月31日まで	2003年4月1日から2004年3月31日まで
売 上 高	56,715	54,235
売 上 原 価	18,257	16,455
売 上 総 利 益	38,457	37,780
販売費及び一般管理費	35,654	31,964
営 業 利 益	2,802	5,815
営 業 外 収 益	263	242
賃 貸 収 入	156	163
受取利息及び配当金	—	18
受 取 利 息	31	—
受 取 配 当 金	0	—
そ の 他	75	60
営 業 外 費 用	354	361
支 払 利 息	179	122
賃 貸 費 用	154	221
そ の 他	20	18
経 常 利 益	2,711	5,697
特 別 利 益	113	40
収用等収入益	100	16
投資有価証券売却益	0	8
賃貸借契約解約益	7	—
役員退職慰労引当金戻入益	0	12
そ の 他	4	3
特 別 損 失	507	290
店舗撤退損失	171	31
固定資産除却損	55	30
過年度役員退職慰労引当金繰入	94	97
たな卸資産評価損	—	109
子会社整理損失引当金繰入	113	—
そ の 他	72	20
税金等調整前当期純利益	2,317	5,446
法人税、住民税及び事業税	1,272	2,738
法人税等調整額	△ 75	△ 6
当 期 純 利 益	1,121	2,714

(注記) 記載金額は、百万円未満を切り捨てています。

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2004年4月1日から2005年3月31日まで	2003年4月1日から2004年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,601	6,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,609	△ 6,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,521	1,630
現金及び現金同等物の増減額	513	1,214
現金及び現金同等物の期首残高	4,270	3,056
現金及び現金同等物の期末残高	4,784	4,270

(注記) 記載金額は、百万円未満を切り捨てています。

●連結剰余金計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2004年4月1日から2005年3月31日まで	2003年4月1日から2004年3月31日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	6,963	6,963
資本剰余金増加高	0	—
自己株式処分差益	0	—
資本剰余金期末残高	6,963	6,963
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	14,759	12,597
利益剰余金増加高	1,121	2,714
当期純利益	1,121	2,714
利益剰余金減少高	493	552
配 当 金	457	514
役 員 賞 与	36	37
自己株式処分差損	—	0
利益剰余金期末残高	15,387	14,759

(注記) 記載金額は、百万円未満を切り捨てています。

グループ会社紹介

(株)エム・ティ・ティ

店舗の改装、改修等も含むメンテナンス業務等

(株)エム・エル・エス

店舗等で使用するユニフォームのクリーニング事業及びリサイクル事業並びに廃棄物回収業務

松屋フーズ開発(株)

店舗に関わる立地開発・契約更新業務

(株)エム・エム・シー・イー

店舗におけるオペレーション及びマネジメント力強化のための業務

(株)エム・ビー・アイ

松屋フーズグループの従業員採用及び人事関連業務並びに事務集中処理業務

松屋フーズ建設(株)

当社店舗の建設施工管理

青島松屋食品有限公司(現在、精算手続き中)

当社へ供給する食材の調達・製造・加工

青島松屋快餐有限公司

和風ファーストフード店の中華人民共和国内における店舗運営

※「青島松屋食品有限公司」及び「青島松屋快餐有限公司」は、第30期においては、連結対象としておりません。

単体財務諸表

●単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部		
科 目	当 期 2005年3月31日現在	前 期 2004年3月31日現在
流動資産	10,346	8,933
固定資産	39,982	35,950
有形固定資産	23,434	20,436
無形固定資産	242	196
投資その他の資産	16,305	15,316
資産合計	50,329	44,884
負債の部		
流動負債	8,897	8,358
固定負債	12,503	8,204
負債合計	21,400	16,562
資本の部		
資本金	6,655	6,655
資本剰余金	6,963	6,963
資本準備金	6,963	6,963
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	0	—
利益剰余金	15,319	14,710
利益準備金	209	209
任意積立金		
土地圧縮積立金	74	74
別途積立金	13,547	11,247
当期末処分利益	1,488	3,179
その他有価証券評価差額金	△ 2	△ 2
自己株式	△ 7	△ 5
資本合計	28,928	28,321
負債・資本合計	50,329	44,884

(注記)記載金額は、百万円未満を切り捨てています。

●単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 2004年4月1日から2005年3月31日まで	前 期 2003年4月1日から2004年3月31日まで
売上高	56,585	54,171
売上原価	18,223	16,451
売上総利益	38,361	37,720
販売費及び一般管理費	35,815	32,198
営業利益	2,545	5,521
営業外収益	431	404
営業外費用	419	377
経常利益	2,557	5,548
特別利益	108	37
特別損失	542	291
税引前当期純利益	2,123	5,294
法人税、住民税及び事業税	1,132	2,595
法人税等調整額	△ 98	△ 16
当期純利益	1,089	2,715
前期繰越利益	628	693
中間配当額	228	228
自己株式処分差額	—	0
当期末処分利益	1,488	3,179

(注記)記載金額は、百万円未満を切り捨てています。

●利益処分

(単位:百万円)

科 目	当 期
当期末処分利益	1,488
これを次のとおり処分いたします。	
配当金	228
(1株につき12円00銭)	
役員賞与金	24
(うち、監査役賞与金)	(2)
任意積立金	700
別途積立金	700
次期繰越利益	535

(注記)記載金額は、百万円未満を切り捨てています。



	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期(予)	
■売上高(百万円)	連結	43,919	50,725	54,235	56,715	60,170
	単体	43,861	50,660	54,171	56,585	60,000
■経常利益(百万円)	連結	4,354	5,678	5,697	2,711	4,020
	単体	4,191	5,712	5,548	2,557	4,000
■当期純利益(百万円)	連結	2,087	2,797	2,714	1,121	1,390
	単体	2,003	2,893	2,715	1,089	1,450
■総資産(百万円)	連結	35,150	39,993	45,029	50,491	49,750
	単体	34,849	39,844	44,884	50,329	49,537
■純資産(百万円)	連結	23,906	26,207	28,370	28,996	29,979
	単体	23,737	26,146	28,321	28,928	29,896
■1株当たり当期純利益(円)	連結	109.48	144.75	140.52	57.04	72.92
	単体	105.11	150.41	141.28	55.83	76.07

※第27期(2001年4月1日から2002年3月31日まで)より、連結会計年度を採用しております。

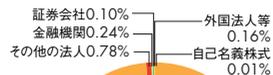
●株式の状況 (2005年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	18,611名

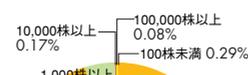
●大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	議決権比率 (%)
瓦葺利夫	4,442,400	23.33
有限会社ティケイケイ	2,729,441	14.33
有限会社トゥイール	2,000,000	10.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,147,800	6.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	997,500	5.24
瓦葺一利	753,500	3.96
瓦葺香	649,372	3.41
商工組合中央金庫	518,400	2.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	311,000	1.63
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	296,900	1.56

●所有者別分布状況



●所有株式数別分布状況



●会社概要 (2005年3月31日現在)

設立	1980年1月16日
資本金	6,655,932千円
代表取締役社長	瓦葺利夫
従業員数	1,013名
売上高	565億円 (第30期実績)
本社	東京都練馬区下石神井4丁目1番7号
工場	嵐山：埼玉県比企郡嵐山町花見台4番3号 富士山：静岡県富士宮市大字北山字峯4242番4号 665店 (直営654店、FC11店)
店舗	※「青島ジャスコ店」を除く
事業内容	・牛めし定食店のチェーン ・チキン亭事業、ラーメン事業 ほか ・フランチャイズ加盟店への食材等の販売及び経営指導

●役員一覧 (2005年6月23日現在)

代表取締役社長	かわら 瓦 葺 利 夫	常勤監査役	ひら 平 藤	代表取締役専務	あき 木 幹 生	代表取締役常務	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生
代表取締役専務	あき 木 幹 生	代表取締役常務	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生	代表取締役	あき 木 幹 生

アンケート結果報告

第30期中間事業報告書のアンケートでは、832名の株主の皆様からご回答をいただきました。

Q. 食の「安全」への取り組みについてお聞かせ下さい。

A. 嵐山工場、富士山工場にて、食材が「いつ、どこで、どのように」生産・流通されたかについて、いつでも把握できる「トレーサビリティシステム」を構築しております。中国からの食材開発輸入体制につきましても、当社従業員が常駐しており、直接、衛生管理・生産管理の指導監督にあたっております。

株主優待制度の一部変更のお知らせ

この度、株主優待制度を一部変更いたしました。

2007年3月期(来期・32期)より、従来の「毎年9月30日及び3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された所有株式数100株以上の株主様に対し、一律で10枚を贈呈」から「毎年3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された所有株式数100株以上の株主様に対し、一律で10枚を贈呈」と変更させていただきます(年間2回発行から年間1回発行へ変更)。

なお、変更時期は、2006年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主様から適用いたします(2005年9月30日現在の株主様にはご優待券をご送付いたします。「弊社製品詰め合わせセット」へのお引き換えも可能です。)

それに伴いまして、ご優待券の有効期限は、2006年3月31日現在の株主様へのご送付分からは、翌年6月30日までといたします。「弊社製品詰め合わせセット」へのお引き換えをご希望の株主様につきましても、翌年6月中に弊社までご返送いただいた分までを対象(お手元に届く時期につきましても、ご優待券が弊社に届きました月の翌月中)といたします。

また、ご優待取扱店舗につきましても、今回のご優待券より、「和定食の店 松屋」及び2005年5月27日にオープンいたしましたイタリアン「レピーノ」ではご利用不可(詳細は同封いたしました「ご優待取扱店舗一覧」をご参照下さい)とさせていただきます。



【アンケートに関するお願い】
当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函下さい。ご協力お願いいたします。

株主の皆様へアンケートのお願い

- 弊社の株式をどの位の期間保有されていますか。
a. 10年以上 b. 7年～10年 c. 5年～7年 d. 3年～5年
e. 1年～3年 f. 1年未満
- 今後の弊社株式についてどのような方針をお持ちですか。
a. 売却 b. 長期保有 c. 買い増し
また、上記方針を決定するための判断材料は何ですか。(複数回答可)
a. 株価 b. 配当 c. 将来計画 d. 業績
e. その他()
- IR情報の提供手段としてどのようなものを希望されますか。
a. 株主通信 b. 投資家説明会 c. インターネットホームページ
d. IR広告 e. その他()
- 今回の事業報告書で、興味をもっていただいた内容は何ですか。
a. 社長インタビュー b. 特集(松屋を支える新拠点が誕生)
c. 事業戦略(店舗展開) d. トピックス(メニュー・ホームページ展開)
e. 財務諸表 f. その他()
- 巻頭の社長インタビューの中で、興味をもっていただいた内容は何ですか。(複数回答可)
a. 当期の業績について
b. 出店政策について
c. 「物流センター」「富士山工場」について d. 外販事業について
e. 今後の見通しについて f. 特でない
g. その他、ご意見があればお聞かせください。
()
- 事業報告書で掲載ご希望のテーマ、当社へのご意見ご要望をお聞かせください。
()

ご協力有難うございました。